

早期景気観測調査

【4-5月期 調査結果報告書】

令和5年6月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和5年5月16日(火)～5月31日(水)
4. 調査対象： 当所会員132事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 77件
7. 有効回答率： 58.3%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【4-5月期の動き】

**全体業況は3.9と2期連続の改善。
仕入価格の高騰を懸念する企業が多いなか、今後の
人流増加に期待する企業も増加。
向こう3ヶ月の業況は5.2と改善する見通し。**

4-5月期の全業種総合の業況DIは、3.9（前期比3.9ポイント増）と、2期連続の改善となった。また、仕入単価DIは▲84.4（前期比13.2ポイント減）と3期振りの悪化となり、今後の高騰を懸念する企業が多数いたが、新型コロナ5類移行による人流増加に期待する企業も増加傾向となった。向こう3ヶ月の先行き業況5.2と改善する見通し。

業種別では、製造業、建設業、卸売業、サービス業が改善、小売業が悪化となった。

製造業の業況DIは25.0（前期比10.7ポイント増）と3期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI ○悪化⇒仕入単価DI、従業員DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

建設業の業況DIは▲42.9（前期比7.1ポイント増）と5期振りの改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI ○悪化⇒仕入単価DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

卸売業の業況DIは17.6（前期比2.2ポイント増）と3期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI ○悪化⇒仕入単価DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、横ばいの見通し。

小売業の業況DIは▲27.8（前期比4.7ポイント増）と2期振りの悪化となった。

○改善⇒従業員DI ○悪化⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

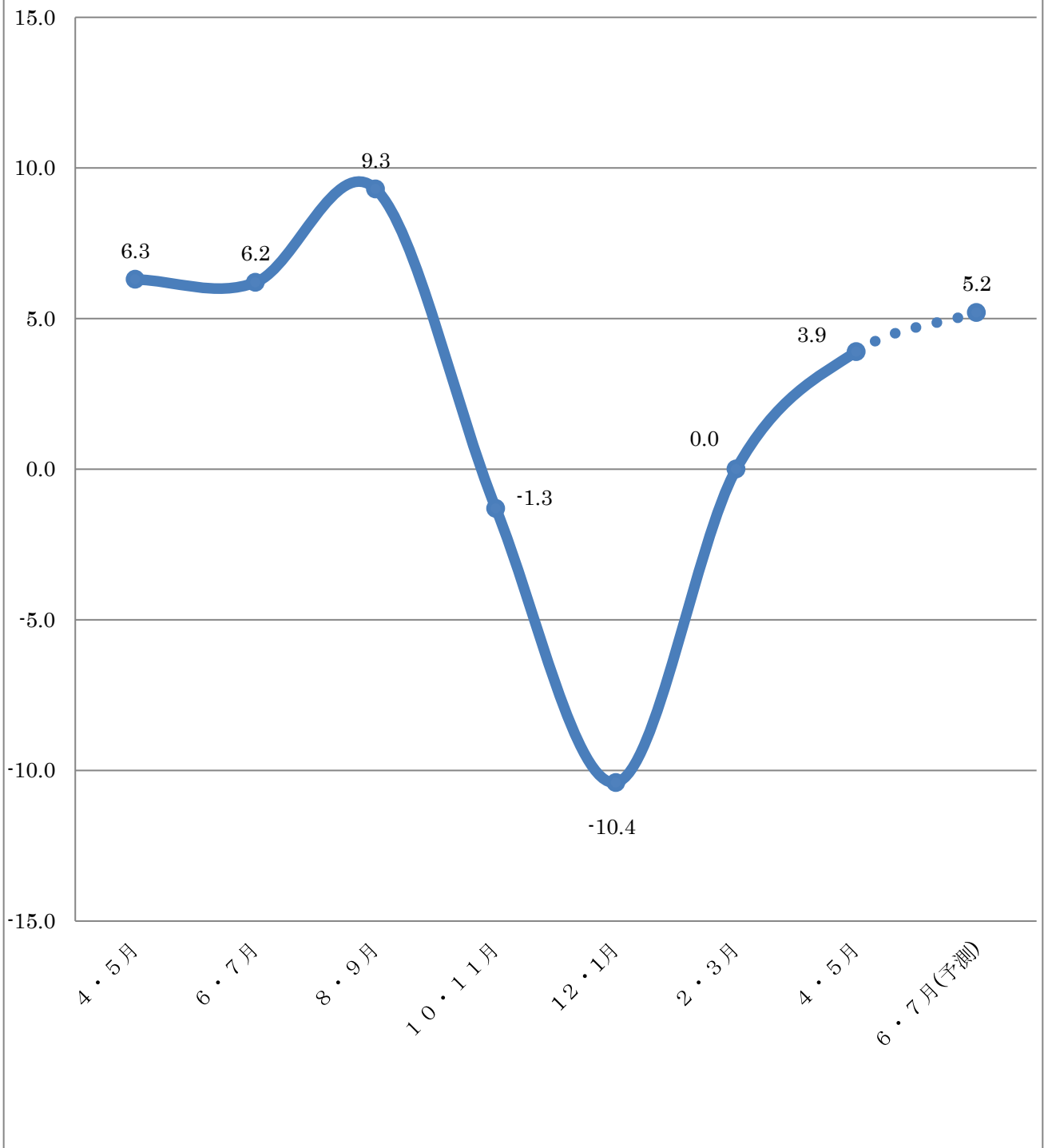
サービス業の業況DIは75.0（前期比33.3ポイント増）と2期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI ○悪化⇒採算DI、仕入単価DI、従業員DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

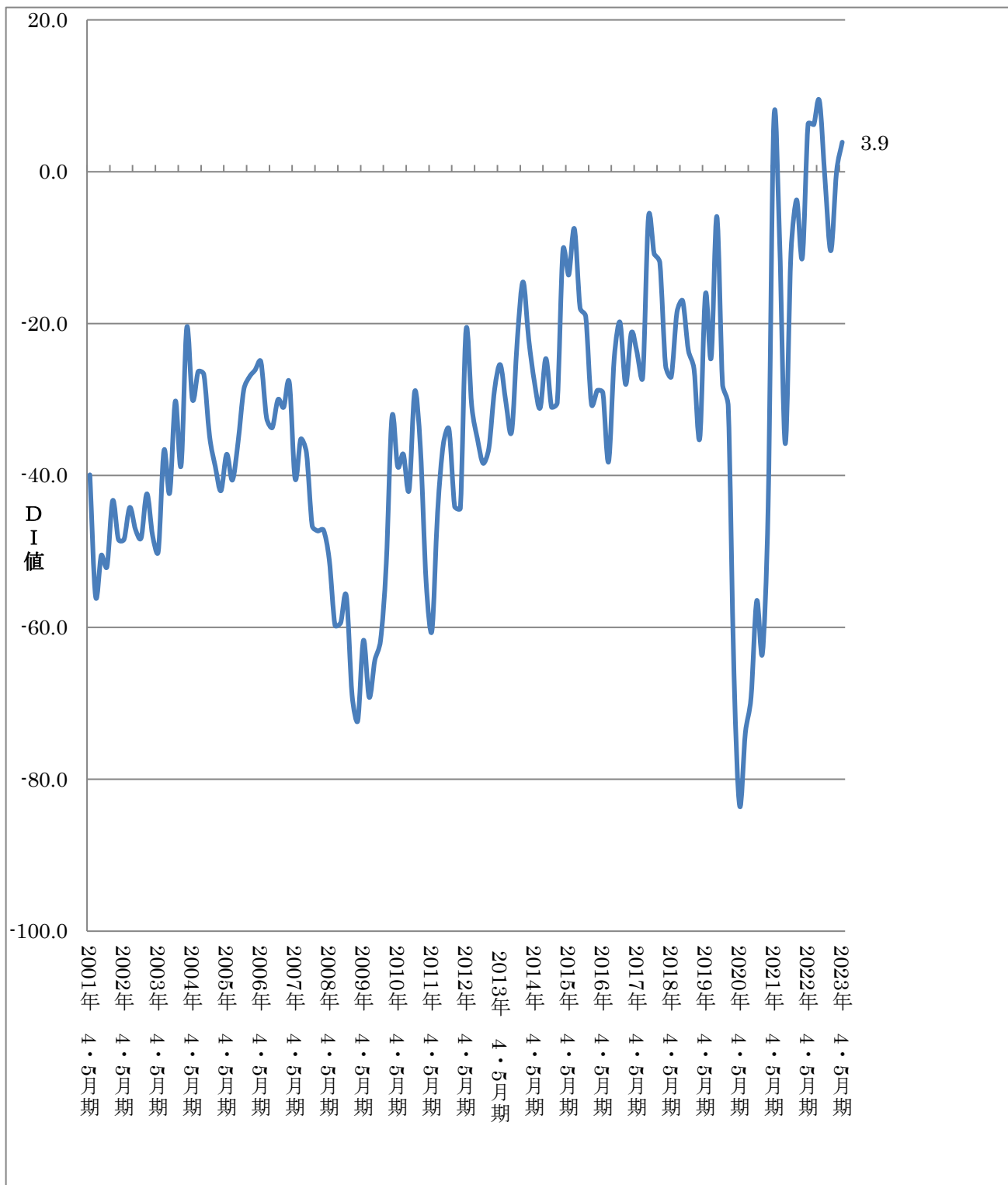
向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

業況D I の推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期 ~ 2023年4・5月期)

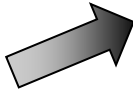




◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について




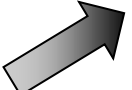

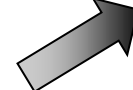

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。
 従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
3. 9	5. 2	6. 5	▲15. 6	▲84. 4	31. 2	0. 0

4－5月期の全業種総合の業況D I は、3. 9（前期比3. 9ポイント増）と2期連続の改善となった。

項目別

○2期連続改善⇒売上D I（4. 1→6. 5）、採算D I（▲17. 8→▲15. 6）、

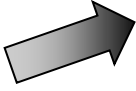
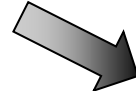
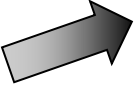
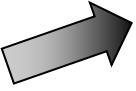


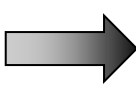
○今期より改善⇒従業員D I（26. 0→31. 2）

○今期より悪化⇒仕入単価D I（▲71. 2→▲84. 4）、金融貸出しD I（2. 7→0. 0）

向こう3ヶ月の先行き業況は、5. 2と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
25.0	5.0	25.0	15.0	▲80.0	10.0	0.0

業況DIは25.0（前期比10.7ポイント増）と3期連続の改善となった。

項目別

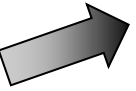
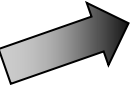
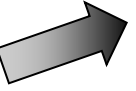
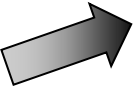

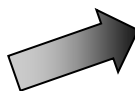

○2期連続改善⇒売上DI（23.8→25.0）、採算DI（0.0→15.0）

○今期より悪化⇒仕入単価DI（▲76.2→▲80.0）、従業員DI（19.0→10.0）

○2期連続横ばい⇒金融貸出しDI（0.0→0.0）

向こう3ヶ月の業況は、5.0と悪化する見通し。

建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲42.9	14.3	▲35.7	▲42.9	▲85.7	57.1	0.0

業況DIは▲42.9（前期比7.1ポイント増）と5期振りの改善となった。

項目別

○3期連続改善⇒採算DI（▲50.0→▲42.9）

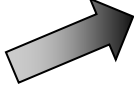
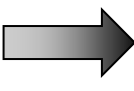
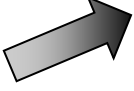
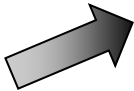

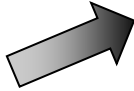
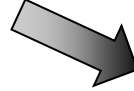
○2期連続改善⇒従業員DI（35.7→57.1）

○今期より改善⇒売上DI（▲57.1→▲35.7）

○今期より悪化⇒仕入単価DI（▲78.6→▲85.7）、金融貸出しDI（7.1→0.0）

向こう3ヶ月の業況は、14.3と改善する見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
17.6	17.6	11.8	▲17.6	▲82.4	41.2	0.0

業況DIは17.6（前期比2.2ポイント増）と3期連続の改善となった。

項目別



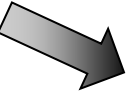
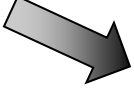
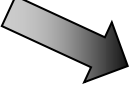
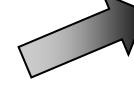

○3期連続改善⇒採算DI（▲30.8→▲17.6）

○今期より改善⇒売上DI（7.7→11.8）、従業員DI（15.4→41.2）

○今期より悪化⇒仕入単価DI（▲61.5→▲82.4）、金融貸出しDI（7.7→0.0）

向こう3ヶ月の業況は、17.6と横ばいの見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲27.8	▲38.9	▲16.7	▲33.3	▲83.3	22.2	0.0

業況DIは、▲27.8（前期比4.7ポイント減）と2期振りの悪化となった。

項目別

○今期より改善⇒従業員DI（15.4→22.2）

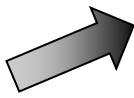
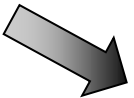
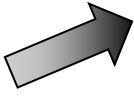
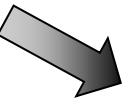
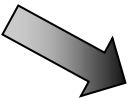
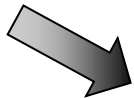
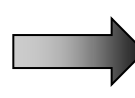
○2期連続悪化⇒仕入単価DI（▲69.2→▲83.3）

○今期より悪化⇒売上DI（0.0→▲16.7）、採算DI（▲30.8→▲33.3）

○4期連続横ばい⇒金融貸出しDI（0.0→0.0）

向こう3ヶ月の業況は、▲38.9と悪化する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
75.0	62.5	75.0	0.0	▲100.0	37.5	0.0

業況DIは75.0（前期比33.3ポイント増）と2期連続の改善となった。

項目別

○2期連続改善⇒売上DI（41.7→75.0）

○3期連続悪化⇒採算DI（16.7→0.0）、従業員DI（50.0→37.5）

○今期より悪化⇒仕入単価DI（▲66.7→▲100.0）

○今期より横ばい⇒金融貸出しDI（0.0→0.0）

向こう3ヶ月の業況は62.5と悪化する見通し。

◆ 業種別詳細

製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

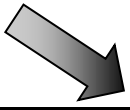
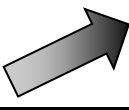


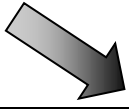
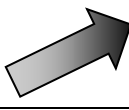
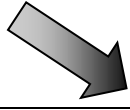
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

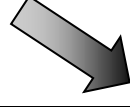






建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

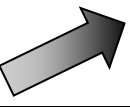
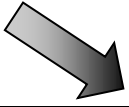

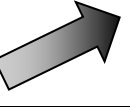
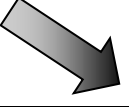
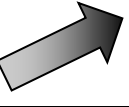

卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


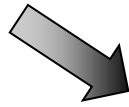



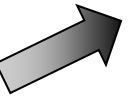

卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

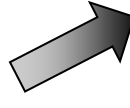
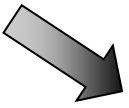
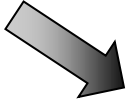

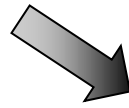
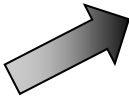

卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

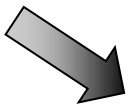

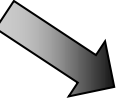




小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

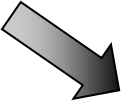

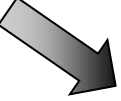
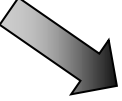
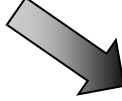
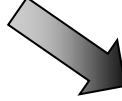

小売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

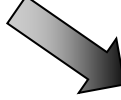
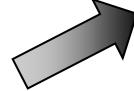
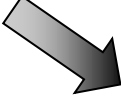
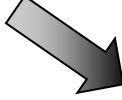
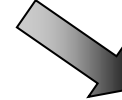


小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

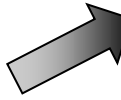

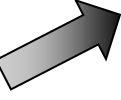
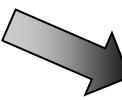
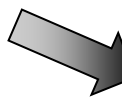


小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

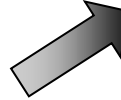
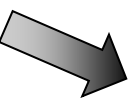
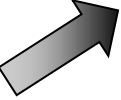
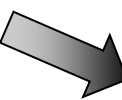
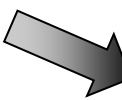
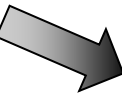

小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

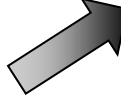


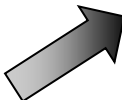



サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題 等）

【製造業】

製造業（食品）

- ・量販店やコンビニ向け日配品と、おつまみが好調。加えてコロナ5類移行によるホテル、飲食店からの引き合い増加で業界は上向き傾向。一方で原料や電気代、燃料費の更なる上昇が今後の懸念材料。今後は人流活発化による中元ギフトの動向も注視していく。
- ・穀物相場高騰が本格的に影響するのは数か月後になると予想。

製造業（工業）

- ・国内は3月値上げ前の駆け込み需要の反動があったものの、売上高はほぼ前年並み。輸出については、前年同期よりも売上高が増加。

製造業（宝飾）

- ・5月に開催されたJUKにて、多数の外国人バイヤーが来場された。今後に期待ができる。

製造業（ニット）

- ・新型コロナ5類移行により、通販取引の勢いが昨年ほど感じられない。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・前年と比べ、電気料金の値上げなど、経費増加による採算の悪化が続いている。
- ・外国人客増加により外食関係が好転しており、今後さらなる売上が見込める。

卸売業（その他）

- ・企業間の業況格差が大きくなっている。
- ・まだ新型コロナ5類移行による好影響は感じられない。

【建設業】

建設業（建築）

- ・仕事に波があり、コロナ禍は受注件数が減少していたが、4～5月は対応できないほどの受注件数で、人手不足や技術者不足も課題となった。

建設業（土木）

- ・職人不足や技術者不足だけでなく、材料納期の遅延も問題となっており、工事開始が遅れている。

【小売業】

小売業（食料品）

- ・人通りの減少が著しく、売上は悪化傾向。

小売業（趣味・日用品）

- ・仕入価格の上昇が止まらず、電気料金などの値上げにより、利益は減少傾向。

【サービス業】

サービス業（観光）

- ・売上は昨年同期を超えたが、物価高騰による燃料や電気の影響が大きく、厳しい状況が続いている。特にコロナ前の令和元年と比べても、採算では8割程度となっている。新型コロナ5類移行による人流増加など、プラスの影響に期待したい。

以上